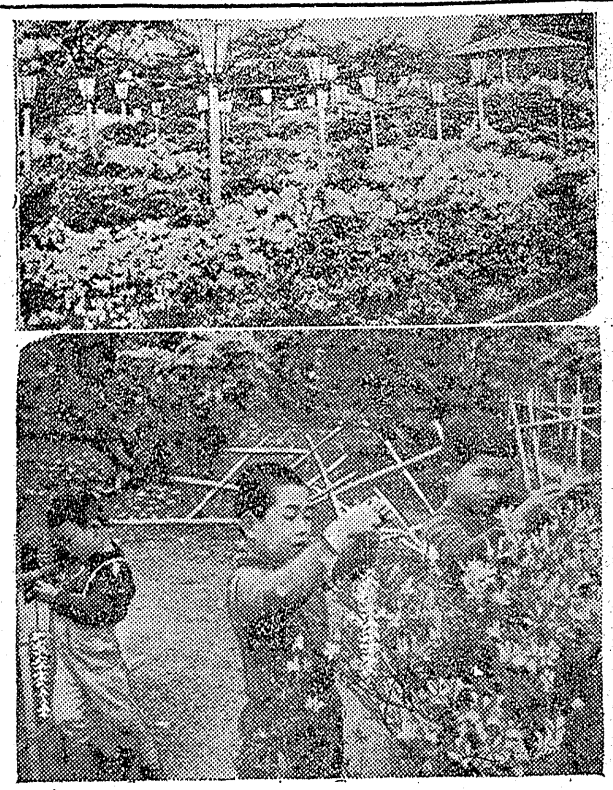
日刊 昭和21年6月1日 第三種郵便物認可 （1）（除月曜）
昭和24年2月23日 特別扱承認第283号 通商省 運輸省
いわき民報 夕刊 昭和28年5月15日（金曜日） 第2144号
夕刊 いわき民報
発行所 平市田町48 電381 1222 いわき民報社
印刷兼発行人 編集兼 登田原

宣傳はデカデカでも 『つつじ』は日茶々々 荒され放題の松カ岡

平市松カ岡公園はサクラ、ツツジの名所として遠近に知られ、特にツツジは丁度今が見頃で訪客で賑わっているが、学校帰りの中、小学生や心ない大人たちの手によって綺麗に咲き揃った花が方々で無ざんにもぎとられ、柵は随所が折り壊され、立入禁止の柵内には平気でもぐり込んで屑物を散らかしている者など不潔を極めている場所が多々あり外訪客のひんしゅくをかつている—

五千株を 東都から移植

松カ岡公園は明治四十年市の西方台地一万三千坪に亘る敷地を整備し開園したもので、このツツジは東都、大久保のツツジ園から移植し五千株にのぼり、毎年初夏をつげる壮風になでられ赤、白、紫と色どりもあざやかに開花し、地方の名所として昔は県内小学校の生徒たちが遠足にきたり、子供たちが細い竹にツツジの花を色とりどりにとつて集めレイ一首飾りにして遊んだりしているのを沢山見受けます、消防団の検閲があつた十日の日曜日は酔どれ消防団おそらく田舎から出て来た人でしようが柵内に入り花をとつたりさんざん騒いでいたのにはビツクリしました、どうしても監視人がいて是非注意してやるようにせねば駄目でしよう（写真下はレイ遊びをしている子供たち）



『つつじ』は日茶々々 荒され放題の松カ岡

子供達は レイ作り 無茶な酔どれ

第一公園売店北佐重昌さん（三七）の話＝私は朝、晩となく公園で生活していますが柵に入ることが禁じられているのに酔った者や二人連れなど戻みに入つていたり、子供ものである、以前のツツジ祭りは賑やかなもので公園内にはボンボリ提灯などが飾られた（写真上は昭和十七年初夏のツツジ祭り）

"監視人"を置こう" 困つている市土木課

市商工課では『名所ツツジ』の宣伝でポスターを配布、観客誘致に努めているが、こんな荒れ放題の儘にして単なる宣伝だけでは市の管理怠慢のそしりもまぬがれず公園の管理は市土木課で行つているが柴田土木主任はこれに就いて次の様に語つている

桜の花見時にも子供たちや不道徳な大人たちに枝をおられたので立札や下げ札などでその防止に努めたが結局は観客の良心に訴えるほかはなく、早速監視人一名を雇つて善処したい、何せ予算がないので困つている、二十八年度は公園管理費として十六万円、内訳は人夫代六万円（年間延二百四十人）修理費五万円、施設費五万円でさくら祭からずつと掃除婦二名を雇つて公園内の清掃に当らせている、一方関場商工課長は『商工課としても側面的に公園の管理には協力しているが土木と商工の両課が本当に協力出来る様に公園美化整備委員会といつたものを設け万全を期してゆきたいと思つている、なお縁の羽根等を公園にはサクラ五百本のほかにツツジも目下農家から寄附を受けているので多数、移植したいと考えている』と語つている

春繭掃立の走り 石城各村霜の被害甚大

石城地方の春繭掃立では例年より約五日遅れ明十五日に小川、赤井、夏井、草野、高久の平坦地で約千五百五十㌘が掃立て県下のトツプを切るが霜害で桑園の八割が被害を受けているため桑不足で思うように掃立て暫く今後改良を加えても春繭総掃立では一万六千㌘といつた処で予定の三万八千㌘は全々見込みないことが判り養蚕家は大打撃となつている、なお十八、九日には山田、入遠野、上遠野、田人など山間部の掃立てがあるみこみ

なり手ない『教育長』 校長兼務の間に合せも

教育の民主化を理想として昨年十一月発足した地方教育委員会の教育長は去る四月一日から教育委員会法で従来併任となつていた各町村役場助役から専門職の教育長に切替えなければならないことになつたが教育長の就任希望者が少なく未だに役場助役が併任している有様で早くも運営面に赤信号を見せている

現在郡下には組合村立を含めて三十の地教委があるが十三日までに専門職の教育長を設置した町村はわずかに平市（教育長、長谷川政）錦町（菅波国尚）泉町（渡辺唯一）磐崎村（江尻融）好間村（高浜爽恵）永戸鉱輪村（高橋武雄）四倉町（渡辺三平）植田町（堀田好一）草野村（大平喜一郎）小川村（堀村末吉）江名町（馬目善親）の十一カ町村、近日中に設置予定のもの小名浜、内郷、勿来、赤井の四カ町村だけで残る十五カ町村は全く教育長設置の見通しがつかない状態である

これに対し県教委では免許状を持つて専門職の教育長一名を設置する暫定措置として地教委事務局員の中から代理教育長を選任する、県教委の了解を経て免許状を持つ学校長を兼務させるなどの応急処置を提示して居り、殆んどがこの応急処置にならつて隣接町村との合同教育長を設置するものと見られ市商工課では『名所ツツジ』の宣伝でポスターを配布、観客誘致に努めているが、こんな荒れ放題の儘にして単なる宣伝だけでは市の管理怠慢のそしりもまぬがれず公園の管理は市土木課で行つているが柴田土木主任はこれに就いて次の様に語つている

桜の花見時にも子供たちや不道徳な大人たちに枝をおられたので立札や下げ札などでその防止に努めたが結局は観客の良心に訴えるほかはなく、早速監視人一名を雇つて善処したい、何せ予算がないので困つている、二十八年度は公園管理費として十六万円、内訳は人夫代六万円（年間延二百四十人）修理費五万円、施設費五万円でさくら祭からずつと掃除婦二名を雇つて公園内の清掃に当らせている、一方関場商工課長は『商工課としても側面的に公園の管理には協力しているが土木と商工の両課が本当に協力出来る様に公園美化整備委員会といつたものを設け万全を期してゆきたいと思つている、なお縁の羽根等を公園にはサクラ五百本のほかにツツジも目下農家から寄附を受けているので多数、移植したいと考えている』と語つている

錦町の新議長

錦町役場では十二日町協議会で二十七年度追加予算、と二十八年度の追加更正予算審議後、任期満了町会議長近藤初太郎氏の後任に山崎登氏が満場一致選任、近藤氏は総務、経済両委員に選任された

寫眞教室 平て第二回目

平市磐城光画会主催、平写真材料商組合後援、第二回『写真教室』は五月十七日午後二時と六時から二回に亘り市内中央通り田中カメラ店新設現像場に於て開催する、最近話題を呼んでいる国産オリエンタル天然色フイルムの発色現像実験講習会で、カラーフイルム概論、撮影理論に次でアマチユアでも自家現像処理の出来る内式カラーフイルムの実技指導で、講師はオリエンタル写真工業研究所員、会費無料、出席者には新製品ソーガル印画紙の見本を進呈する、なお希望者は市内写真材料店か磐城光画会に十四日迄に申込めば良い

植田町営住宅竣工

竣工した植田町の公営住宅は鈴山地内に四戸仁井田地内一戸計五戸を建設完成を見たが入居申込者は余名あるが詮衡委員会では営林署植田署、植田町保健所各一戸、一般一戸仁井田から一戸を割当て各職場で選定する

白い羽根募金 小名濱で廿五日迄

小名浜町では定例区長会を十二日午前九時より公民館ホールで開き日赤"白い羽根"募金は二十五日まで実施同町目標額十四万七千円を突破すべく四千五百戸の絶大な協力を得るよう取り計うこと、また町役場庁舎新築寄附申出については次期定例区長会にあらためて具体案を協議することゝし正午閉会した

天気予報

【今晩】西よの風曇り勝ち、悪くすると一時小雨後晴
【明日】西よりの風日中晴で朝合雲の多い天気、海上今晩明日にかけ西よりの風や、風波が強いみこみ

先ず飯塚通信長が乗船の心得を一般乗船者にマイクを通じて親切に指示すれば菊田機関長はせわしく機関室内を行きゝしながら終始十ノツトの快速を保持、また大浦船長の操舵あざやかにいずれも本職保安官そこのけの指揮、操作ぶりを発揮し塩屋崎から平潟沖合と予定コースを一巡、最後までよく各部所をまもり午前十一時半無事小名浜へ入港したが、生憎かなり波が高かつたので船酔い保安官が出たのはシロウトの悲しさで仕方がなかつた（写真は"一日保安官"の面々）

石城小學校長會

石城郡小学校長会は十八日午前九時半から平一小で開き本年度研究

"一日海上保安官" 船酔は無理もないです

小名浜海上保安部では開庁五周年記念行事の一環として巡視船"あさちどり"（三百㌧）を十三日一般に公開、"一日海上保安官"遊を乗せて"海の護り"の実際を体験させた"一日海上保安官"の面々は船長小名浜町役場大浦経済課長を初め機関長が海上保安協会菊田主事、通信長が小名浜商工会飯塚取扱務理事、保安官はミス商工会阪方ハツエ（二）ミス専門店会和田好子（二）の両嬢ほか約十名、この時半から平一小で開き本年度研究

新川に櫻、松カ岡に梅
市内景勝地の美化
平の緑化運動の成果

平市緑化推進委員会では四月十一日から五月十五日に亘り緑化運動を展開中で既に街頭募金二十七万円、戸別募金十八万円が纏まったので、現在は新市内の農家から樹木の現物寄附だけを集めており約千二百本は集まるものと予想され市内緑化に着手し始めた

街頭募金の二割（二万七千円）は各学校に協力費として交付し殘る二十四万三千円と戸別募金十八万円、このほか県補助金一万円、商工会議所から七万円（昭和二十五年、終戦後の濫伐により桜の増植資金として市民から募金していたもの）の合計五十万三千円から寄附を受けた謝礼として記念手拭一本ずつ贈呈する

▼松カ岡公園に桜五百本を植樹し名物のつつじを移植する
▼谷川瀬蹴輪場附近に梅二百本を移植する
▼駅前三十米道路グリーンベルトにユツカ蘭七十本、駅前に玉いぶき十七本を植えた
▼かいで、とりもち、やつで、松など寄附された樹木は市内児童遊園地、学校、官庁等に植樹する

人夫賃など十万円を除いた三十万円余で樹木を購入、寄附された樹木と共に次の様な植樹計画をたてゝいる

▼新川の有名な桜も終戦以来少くなって来たので南側の土堤に七米巾きに三百本の桜を移植する、北側には柳二百本を新しく植えその間にはつゝじ四百株を花壇式に植え散策道路としてふさわしい環境とする

人出もあって大賑わいを呈すだろう（寫真は御興の渡御）

花札賭博
上遠野で田人

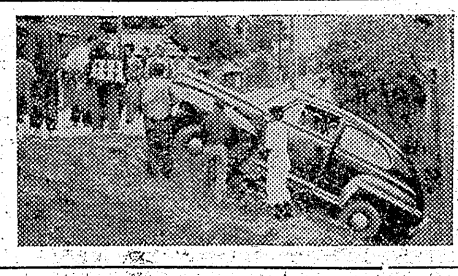
◇上遠野村小滝農業遠藤喜市（三七）同村農業高木重吉（三七）同村下駄製造業新井静利（四一）同村山崎農業瀬谷元（三七）の四名は去る三月二十九日夜七時ごろから遠藤宅で花札賭博を開帳し前後三十回にわたり一回三十円平均にかけていたところを植田地区警員に現行犯で逮捕、十三日書類送検

◇田人村旅人農業佐藤多右衛門（七〇）同村黒田七十平山正吉（七〇）郡甲（三一）の両名は去る一月下旬ごろ佐藤宅で花札賭博していた廉いで十三日植田地区警から書類送検

植田町古物商組合総会は十一日植田地区警で開き廿八年度の予算を審議した

石炭で百萬圓詐欺
自殺した父の名騙る

既報＝湯本地区警では去る八日文書偽造の廉で内郷町宮字竹之内三二石炭販売業青木宏安を逮捕身柄を留置余罪を追究中だったが、去る二月五日ごろ大阪市旭洋工業合資会社橘岩正さんから常磐炭鉱労務係に勤務中七十七万円の横領をはたらいたこともあるしたゝかという誣告を偽造し現金（一万円を詐取したことが判り十四日身柄を送検した、去る三月下旬ごろ息子の悪業を苦にして自殺した実父重助さん名義で騙取したもの、青木は中央大学法科を卒業後常磐炭鉱県衣料品販売KK社員大橋資三さん（三五）は頭部と左脚に全治一カ月の打撲傷を負ったが鈴木運転手は奇跡的に無事だった（寫真は転落現場）



好間の辻強盗
容疑者二名檢擧
職安の放火もこれ等か

平地区警では去る九日夜好間村北十分ごろ好間村古河炭鉱斜坑口から三百四十米の地点で採炭夫菅野英一さん（三四）は炭車に挟まれ腰部骨折全治一カ月の重傷を負った

ハイヤー
轉落
乗客が重傷

十四日午前八時五十分ごろ平市下平窪地内県道磐城橋附近で平市田町花塚タクシーのハイヤー＝運転手鈴木充則（三二）＝はスピードを出しすぎて四米の土手下に転落車体を小破、乗っていた須賀川町東町後・四家庭と学校

祝 昭和27年産煙草耕作者表彰
平出張所事務所新築落成
5月15日

日本專賣公社
平出張所
土木工事施工
加地和組
代表者 川和徳一
平市鍛冶町三二
電話 九七〇

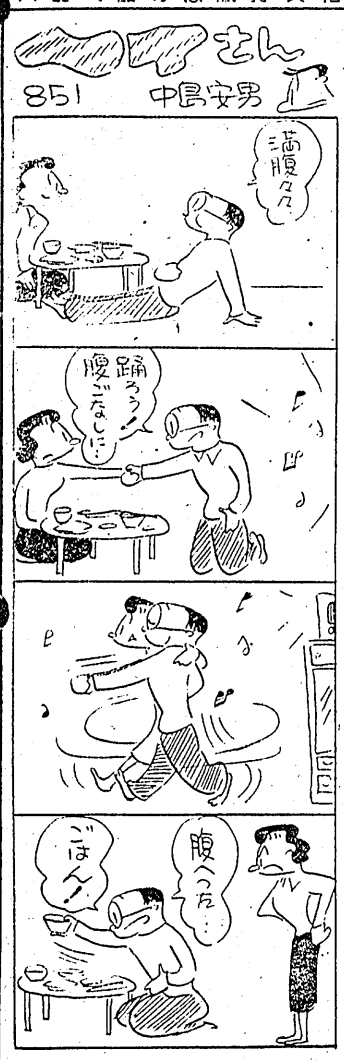
平市役所
日本專賣公社
平出張所

平管内煙草耕作組合連合会
平煙草販売協同組合
平塩業合名会社
平塩販売一組合
小名浜塩販売組合
植田塩販売組合
四倉塩販売組合

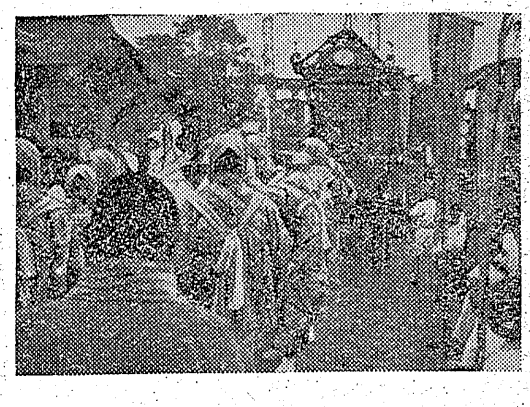
日本專賣公社
平出張所
新築工事施工
磐城土建工業株式会社
取締役社長 強口唯七郎
専務取締役 強口金七郎
本社 平市小太郎町
電話五九 一〇三四 二八二番

新築中の近代的洋館が落成しました
皆様のお氣に召すパーマネントの外に技術優秀の衛生的理髪部を新設致しました何卒お越し下さい
美容理髪部
美顔術花嫁衣裳着付
蛭田パーマネント
（植田町警察署横通）

○喜多流謡曲仕舞お稽古
○幸流小鼓
毎週月水金
平市田町大九電二二七
白土稽古舞台



濱名小の祭で賑う



小名浜町鹿島神社の例大祭は十四日執行、金出口につゞいて、醵の花を飾り五穀豊穣、大漁を行い御興の渡御花飾りをつけた花車や長持ちなども出て町内はどっと返す賑かさを呈した、次いで明十五日は同諏訪神社の例大祭で寄まつりの十四日夜八時から御興奉持者の船頭約百五十名らが拝殿に額ついて大々神楽を奉納する、十五日は午前九時半から猿田彦青山浅吉さん（同町古港）を先頭に御興渡御あり

看護婦数名募集
十八―二十五才　委細面談
医療法人
櫛田病院
櫛田町番所下　電話三〇二番

出前迅速
奈加や
平才槌小路電三九五

江戸前壽司
割烹小料理 和洋食そば
◇明るく衛生的で手軽く安い奈加やの味覚をぜひ
★あんみつ…はじめました

ライトインキ
七十年の研究の精華
魁文堂

蒲焼 割烹
江戸ちゃん
紅小路電一四五六

寿司の江戸川
出前迅速
才槌小路電一〇二二

近代的な明るい食堂
PEARL レストラン パール
お気軽にお家族連れ社交 宴会 商談にもご利用下さい
TEL 1388

これは たびら 筆箋
平市番所前 松月堂

洋服は高屋
平二

かっぽう 開花

諸鳥全般
飼育用器具一式
厳選飼料 各種
釣道具一式
平三 三幸 小鳥部

ピアノ オルガン
高野文化堂
平川三丁目30米道路
電話1064番

科学の目
平市田町 電一一〇九

ラジオは藤越

片づかぬ用ひとつだけ衣更
すっかり初夏になりましたが、冬のままにのこっているところが一つだけあります。お手もとの手提袋がそれです足もとから涼風の頃／趣味のアクセ手鞄を求められる外出姿は完璧です。
○蛤型アケビ手鞄 四三〇円
○小行李型〃 五〇〇円
○普型〃 三〇〇円より
藤越
小名浜 平市